

第3回高志の国詩歌賞受賞者について

【受賞者】堀田 季何（ほった きか）
文芸家、47歳
受賞対象作品『人類の午後』（邑書林、2021年）



（プロフィール）

俳誌「楽園」主宰、歌誌「短歌」同人。俳句により、芸術選奨文部科学大臣新人賞、現代俳句協会賞、芝不器男俳句新人賞齋藤慎爾奨励賞、短歌により、日本歌人クラブ東京ブロック優良歌集賞、石川啄木賞。句集『亞刺比亞』・『星貌』・『人類の午後』、歌集『惑亂』、著書『俳句ミーツ短歌』、共著多数。現代俳句協会理事、国際俳句協会理事、現代歌人協会会員、日本歌人クラブ会員、日本文藝家協会会員。詩歌を中心に多言語多形式で執筆、国内外で文芸活動を行う。富山県内での地域振興活動にも携わっている。

（選考理由）

対象作品の句集『人類の午後』において、地球規模の問題、社会的課題に向き合い、こうした問題に対して果敢に創作活動を行う堀田氏の射程の広さが高く評価された。すでに全国規模の大きな賞を受賞済みであるが、今後ますますの活躍が期待される。